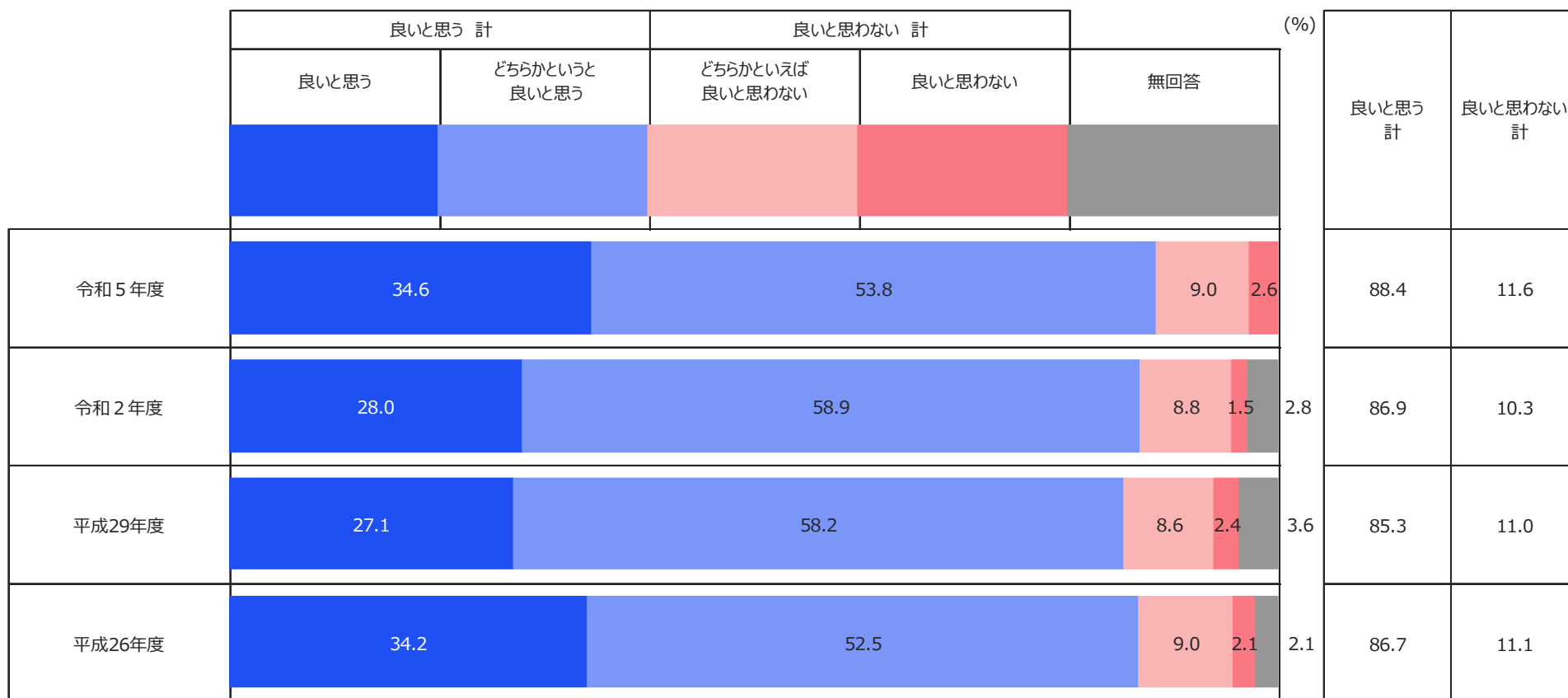


治安・暮らしの安全に関する施策

18 近年の治安状況

Q18 あなたが現在お住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(SA)

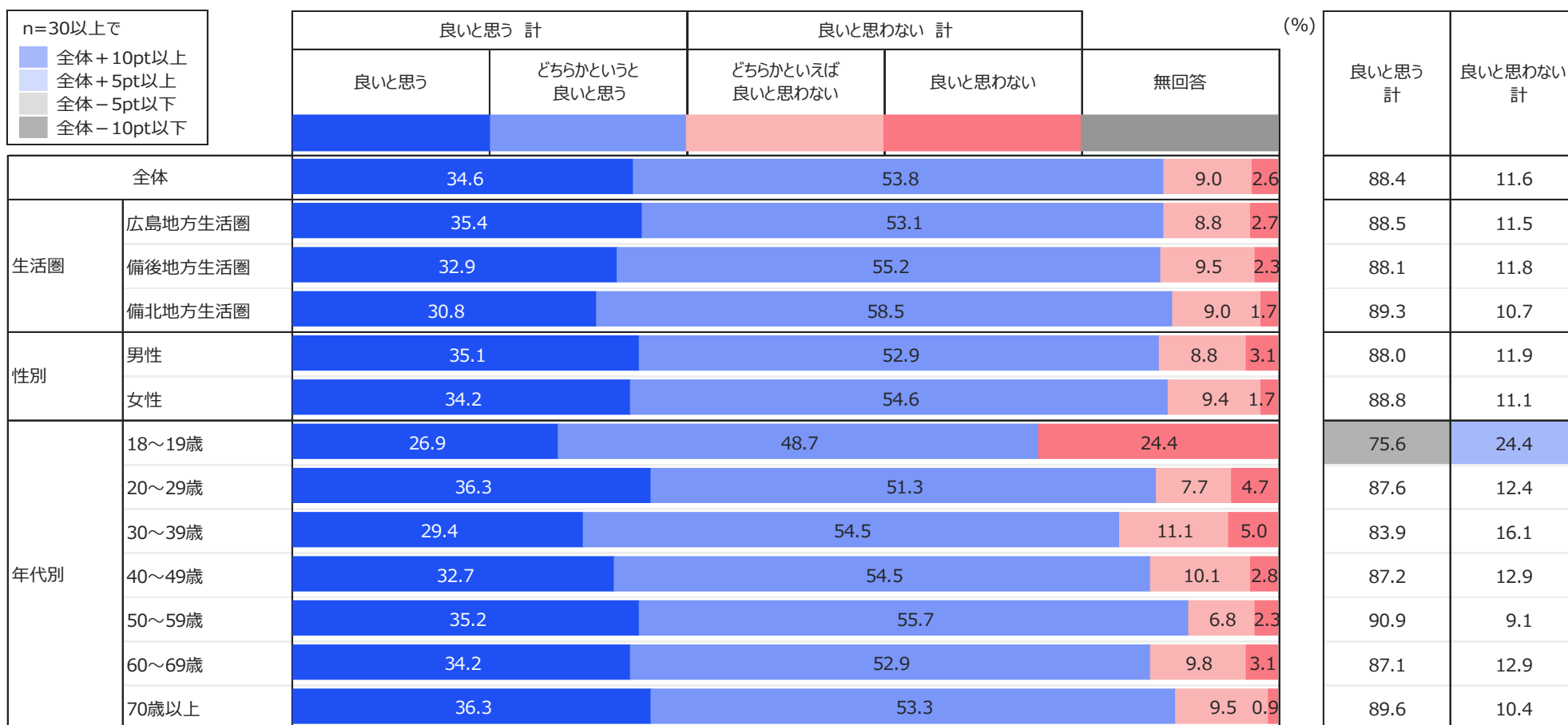
- 居住地域の治安が良いと思うかどうかについて、「良いと思う計」（「良いと思う」+「どちらかというと思う」）の割合は88.4%、「良いと思わない計」（「良いと思わない」+「どちらかといえば良いと思わない」）の割合は11.6%となっている。
- 前回調査と比較すると、「良いと思う」の割合が34.6%と6.6ポイント増加している。



18 近年の治安状況～続き（属性別）

Q18 あなたが現在お住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(SA)

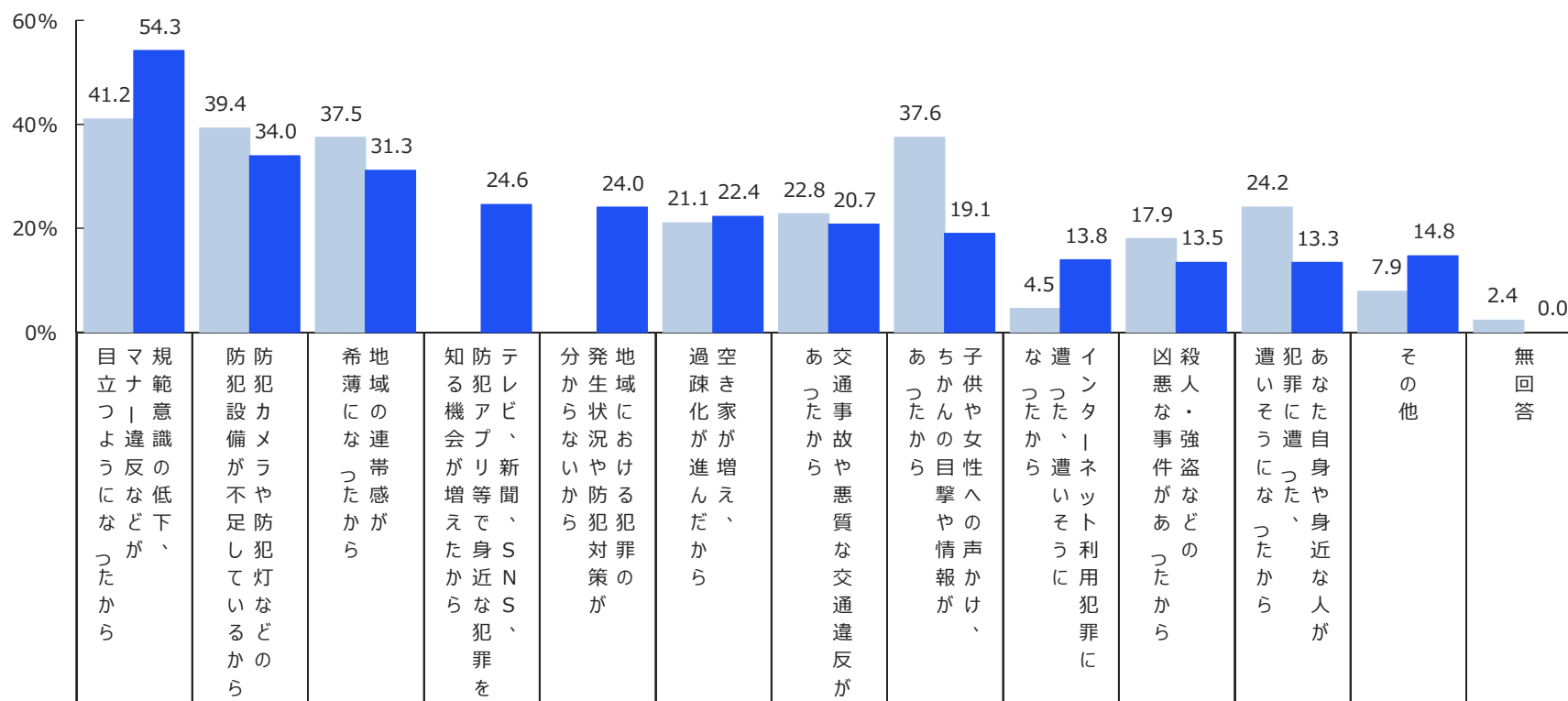
- 生活圏別にみると、すべての生活圏で「良いと思う計」の割合が9割近くになっている。
- 性別・年代別にみても、上記の傾向は、ほぼ同様である。



19 治安に対する不安理由

Q19 前問で3、4の番号を選んだ方にお聞きます。あなたが現在お住まいの地域が治安良好と思わない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

- 居住地域の治安に対する不安理由は、「規範意識の低下、マナー違反などが目立つようになったから」の割合が54.3%で最も高い。
- 次いで、「防犯カメラや防犯灯などの防犯設備が不足しているから」(34.0%)、「地域の連帯感が希薄になったから」(31.3%)となっている。
- 前回調査と比較すると、「規範意識の低下、マナー違反などが目立つようになったから」の割合が13.1ポイント増加している。

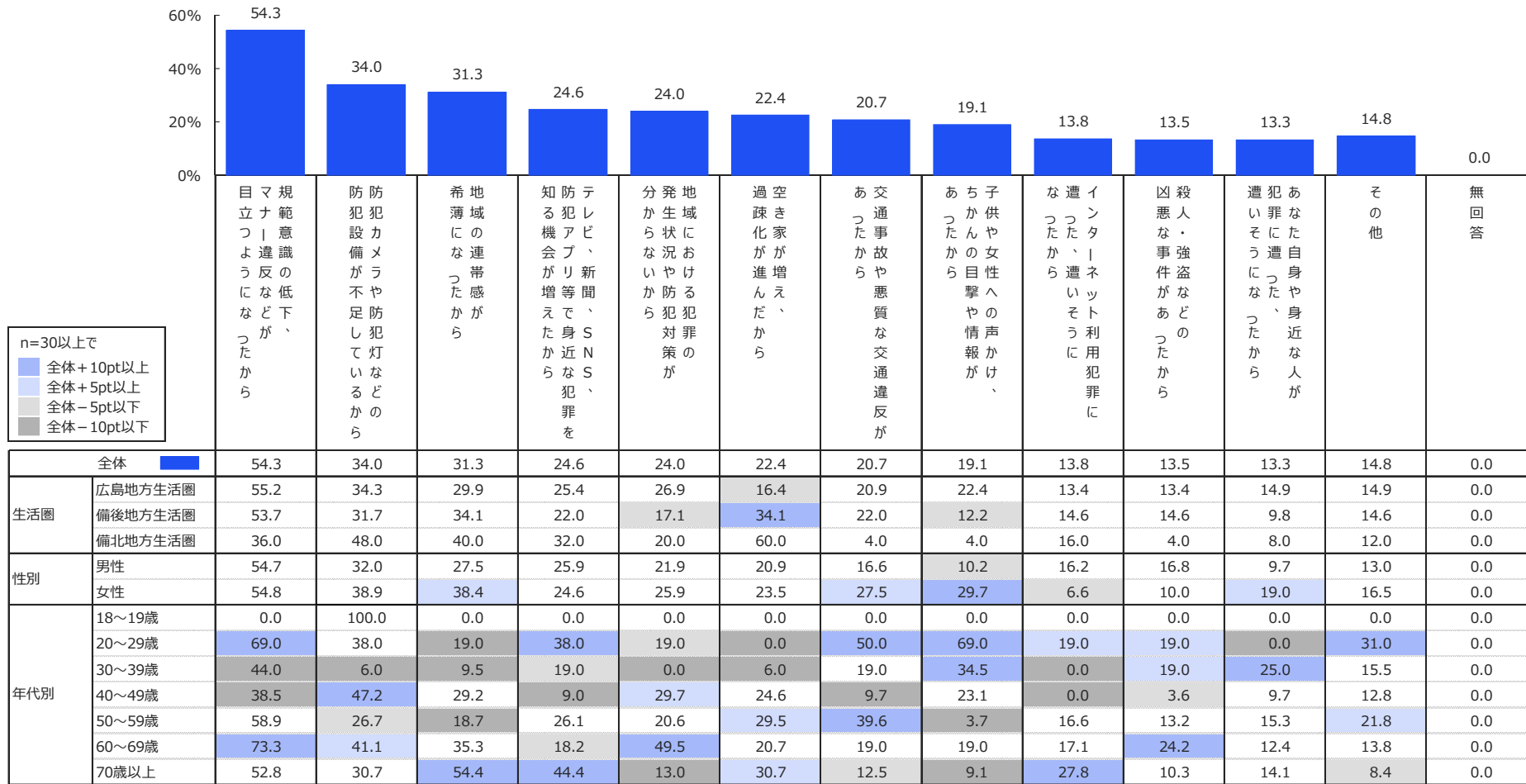


※全体の値を基準に降順並び替え

19 治安に対する不安理由～続き（属性別）

Q19 前問で3、4の番号を選んだ方にお聞きます。あなたが現在お住まいの地域が治安良好と思わない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（MA）

- 生活圏別にみると、備後地方生活圏で「空き家が増え、過疎化が進んだから」（34.1％）の割合が高い。（備北地方生活圏は、n=30未満で参考値）
- 性別にみると、男性層で「インターネット利用犯罪に遭った、遭いそうになったから」の割合が女性層を9.6ポイント、女性層で「子供や女性への声かけ、ちかんの目撃や情報があったから」の割合が男性層を19.5ポイントそれぞれ上回っている。
- 年代別にみると、60歳代で「規範意識の低下、マナー違反などが目立つようになったから」の割合が73.3％と高い。



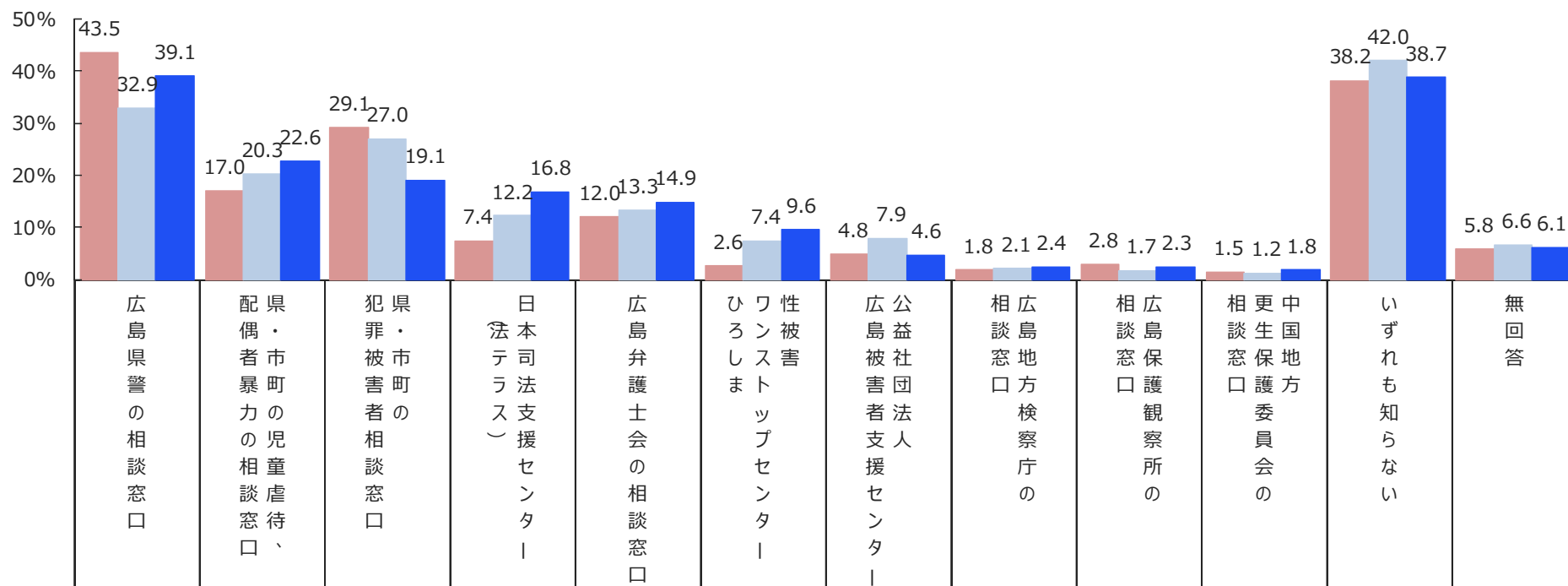
※n=30未満は参考値。

※全体の値を基準に降順並び替え

20 相談窓口で知っているもの

Q20 あなたは、犯罪被害者及びその家族等の支援のための相談機関・窓口が設置されていることを知っていますか。次の中から知っているものをすべて選んでください。(MA)

- 相談窓口で知っているものは、「広島県警の相談窓口」の割合が39.1%で最も高い。
- 次いで、「県・市町の児童虐待、配偶者暴力の相談窓口」(22.6%)、「県・市町の犯罪被害者相談窓口」(19.1%)となっている。
- 前回調査と比較すると、「広島県警の相談窓口」の割合が6.2ポイント増加している。一方、「県・市町の犯罪被害者相談窓口」の割合が7.9ポイント減少している。

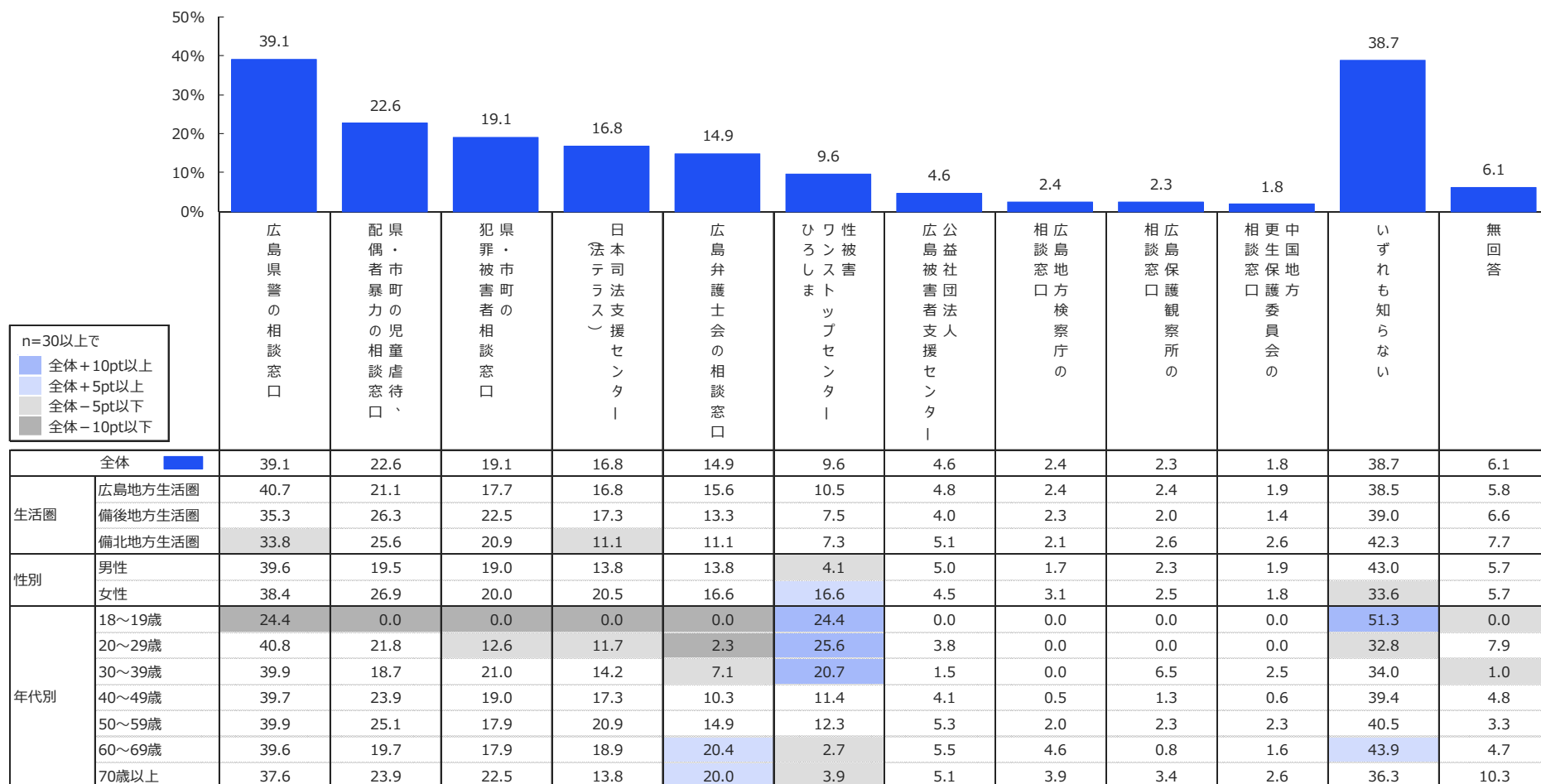


※全体の値を基準に降順並び替え

20 相談窓口で知っているもの～続き（属性別）

Q20 あなたは、犯罪被害者及びその家族等の支援のための相談機関・窓口が設置されていることを知っていますか。次の中から知っているものをすべて選んでください。（MA）

- 生活圏別にみると、備北地方生活圏で「広島県警の相談窓口」（33.8%）の割合が他の生活圏と比べて低い。
- 性別にみると、男性層で「いずれも知らない」の割合が女性層を9.4ポイント、女性層で「性被害ワンストップセンターひろしま」の割合が男性層を12.5ポイントそれぞれ上回っている。
- 年代別にみると、18歳～30歳代で「性被害ワンストップセンターひろしま」の割合が2割以上と高い。

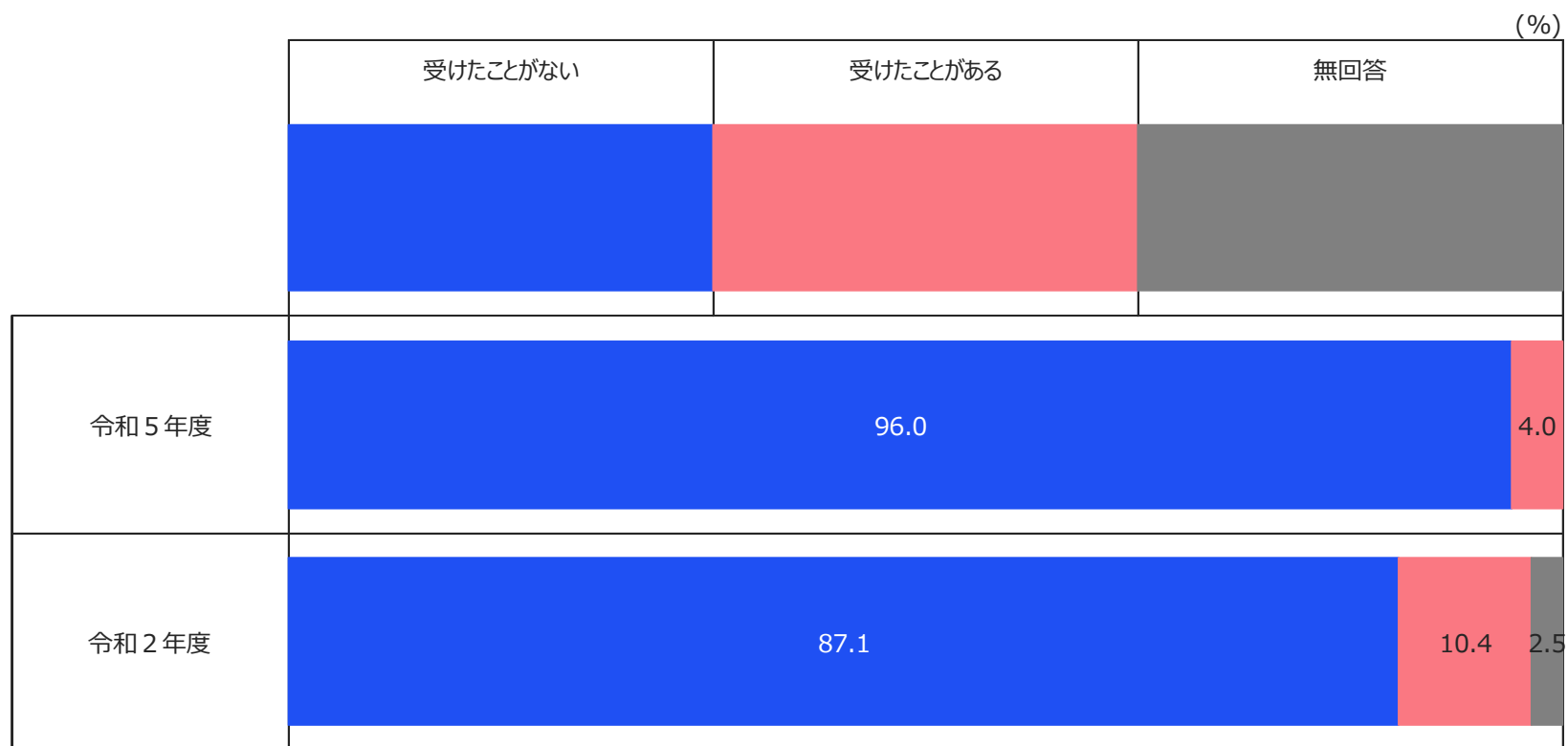


※全体の値を基準に降順並び替え

21 ドメスティックバイオレンス（DV）

Q21 あなたは、直近の1年間で、配偶者や交際相手から暴力（身体的・精神的・経済的・性的）を受けたことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（SA）

- 直近1年間に配偶者や交際相手からの暴力を受けた経験は、「受けたことがない」の割合が96.0%、「受けたことがある」の割合が4.0%となっている。



※ 今回調査においてはDVを受けた時期について、「直近1年間で」という条件を付した。

21 ドメスティックバイオレンス（DV） ～続き（属性別）

Q21 あなたは、直近の1年間で、配偶者や交際相手から暴力（身体的・精神的・経済的・性的）を受けたことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（SA）

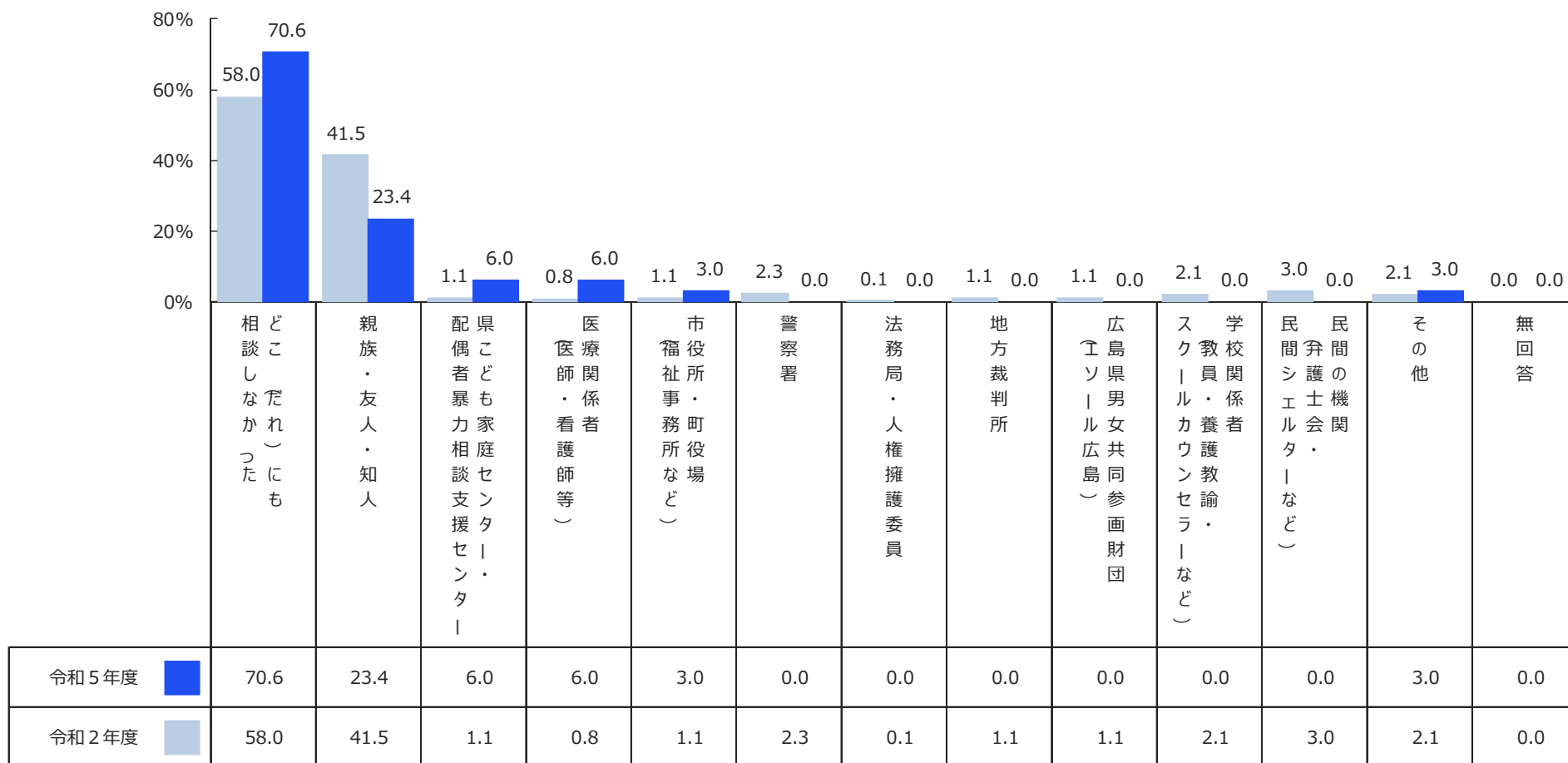
- 生活圏別にみると、すべての生活圏で「受けたことがない」の割合が9割以上となっている。
- 性別にみると、女性層で「受けたことがある」の割合が5.6%と男性層を2.7ポイント上回っている。
- 性年代別にみると、女性40歳代で「受けたことがある」の割合が8.6%、女性50歳代で8.3%とやや高い。

		(%)		
		受けたことがない	受けたことがある	無回答
全体		96.0	4.0	
生活圏	広島地方生活圏	95.4	4.6	
	備後地方生活圏	97.4	2.6	
	備北地方生活圏	98.3	1.7	
性別	男性	97.1	2.9	
	女性	94.4	5.6	
性年代別	男性X18～19歳	100.0		
	男性X20～29歳	100.0		
	男性X30～39歳	93.5	6.5	
	男性X40～49歳	95.6	4.4	
	男性X50～59歳	98.0	2.0	
	男性X60～69歳	97.6	2.4	
	男性X70歳以上	97.2	2.8	
	女性X18～19歳	100.0		
	女性X20～29歳	96.2	3.8	
	女性X30～39歳	93.9	6.1	
	女性X40～49歳	91.4	8.6	
	女性X50～59歳	91.7	8.3	
	女性X60～69歳	97.7	2.3	
女性X70歳以上	96.3	3.7		

22 相談先

Q22 前問で2の番号を選んだ方にお伺いします。あなたは、どこ（だれ）に相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

- 配偶者や交際相手からの暴力を受けた人の相談については、「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合が70.6%。
- 相談先では、「親族・友人・知人」の割合が23.4%で最も高い。

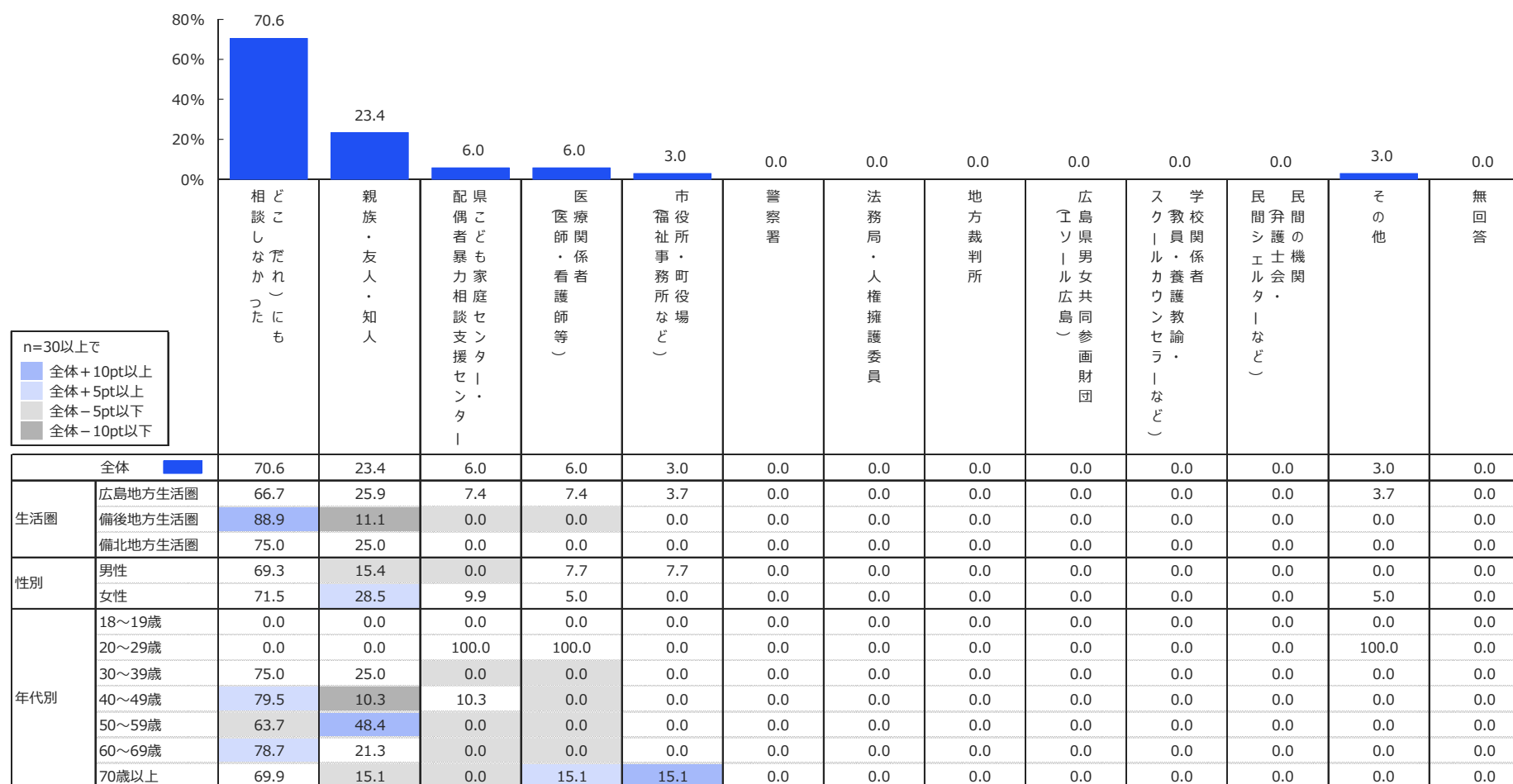


※全体の値を基準に降順並び替え

22 相談先～続き（属性別）

Q22 前問で2の番号を選んだ方にお伺いします。あなたは、どこ（だれ）に相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。（MA）

- 生活圏別にみると、備後地方生活圏で「どこ（だれ）にも相談しなかった」（88.9%）の割合が他の生活圏と比べて高い。
- 性別にみると、男性層で「市役所・町役場」の割合が女性層を7.7ポイント、女性層で「親族・友人・知人」の割合が男性層を13.1ポイントそれぞれ上回っている。
- 年代別にみると、50歳代で「親族・友人・知人」の割合が48.4%と他の年代よりも高い。



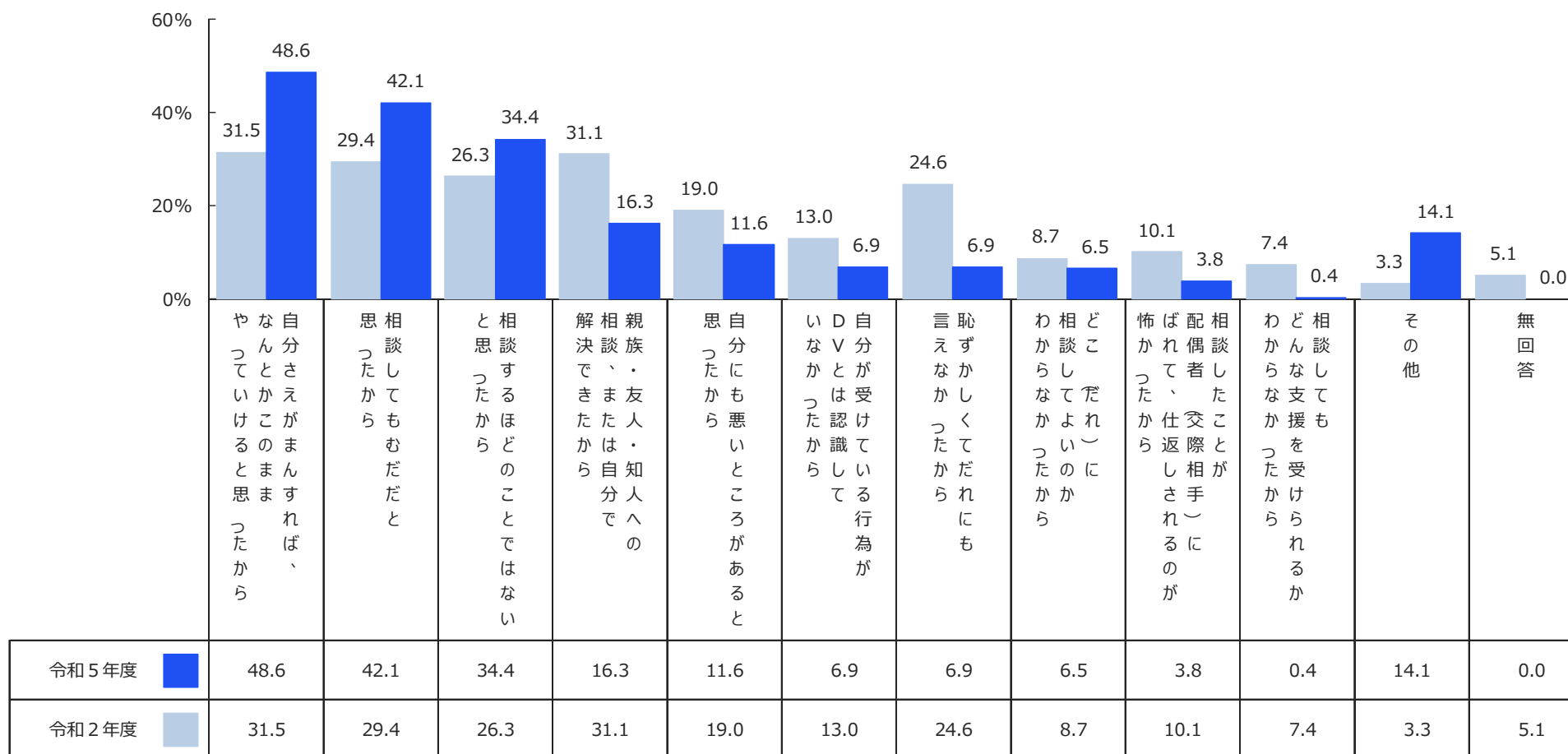
※n=30未満は参考値。

※全体の値を基準に降順並び替え

23 公的機関に相談しなかった理由

Q23 前問で公的機関に相談しなかった方（10、11の番号を選んだ方）にお伺いします。それはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。（MA）

- 公的機関に相談しなかった理由は、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていたから」の割合が48.6%で最も高い。
- 次いで、「相談してもむだだと思ったから」（42.1%）、「相談するほどのことではないと思ったから」（34.4%）となっている。

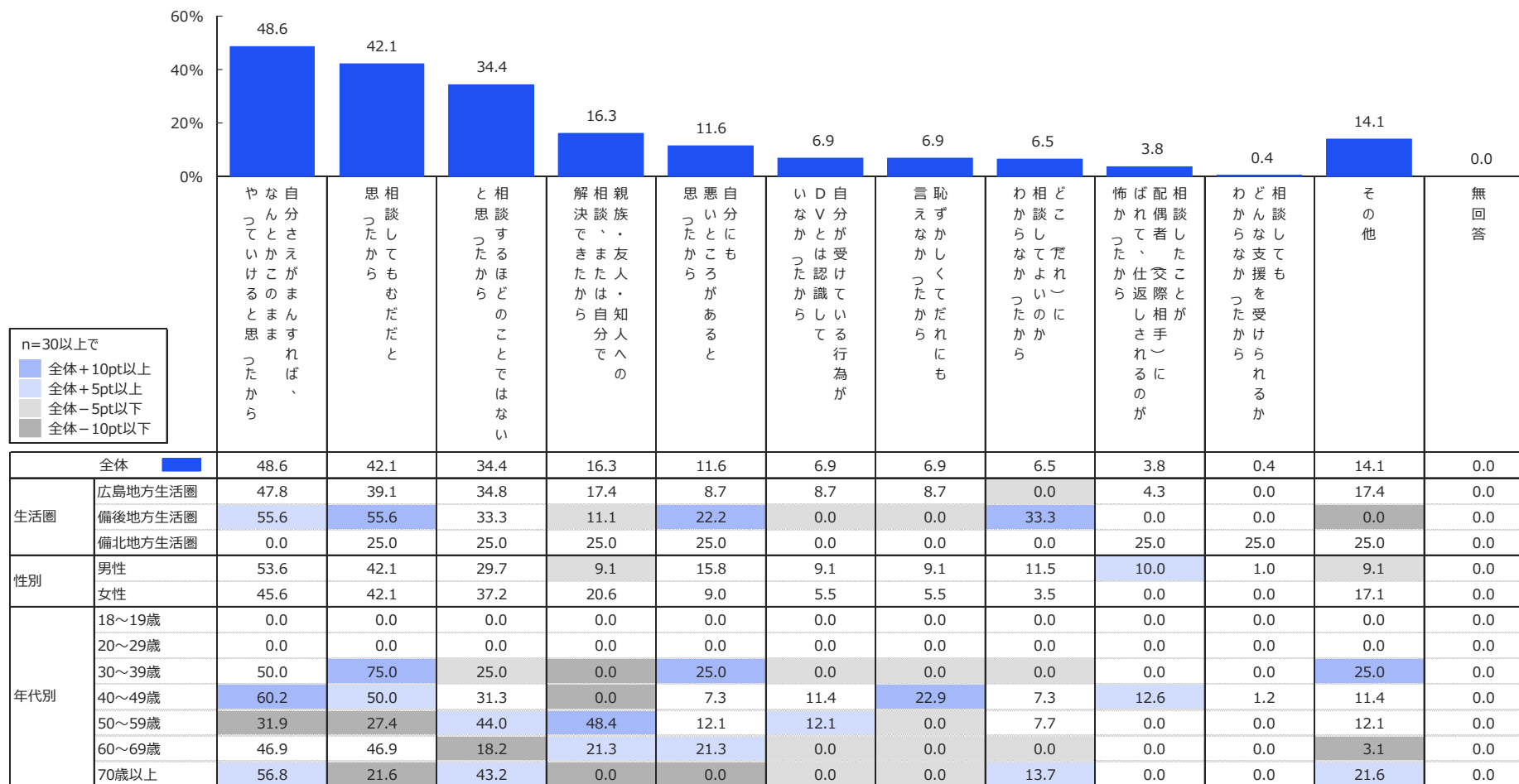


※全体の値を基準に降順並び替え

23 公的機関に相談しなかった理由～続き（属性別）

Q23 前問で公的機関に相談しなかった方（10、11の番号を選んだ方）にお伺いします。それはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。（MA）

- 生活圏別にみると、備後地方生活圏で「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」、「相談してもむだだと思ったから」の割合が55.6%と他の生活圏と比べて高い。
- 性別にみると、男性層で「相談したことが配偶者（交際相手）にばれて、仕返しされるのが怖かったから」の割合が女性層を10.0ポイント、女性層で「親族・友人・知人への相談、または自分で解決できたから」の割合が男性層を11.5ポイントそれぞれ上回っている。
- 年代別にみると、40歳代と70歳以上で「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」の割合が高い。

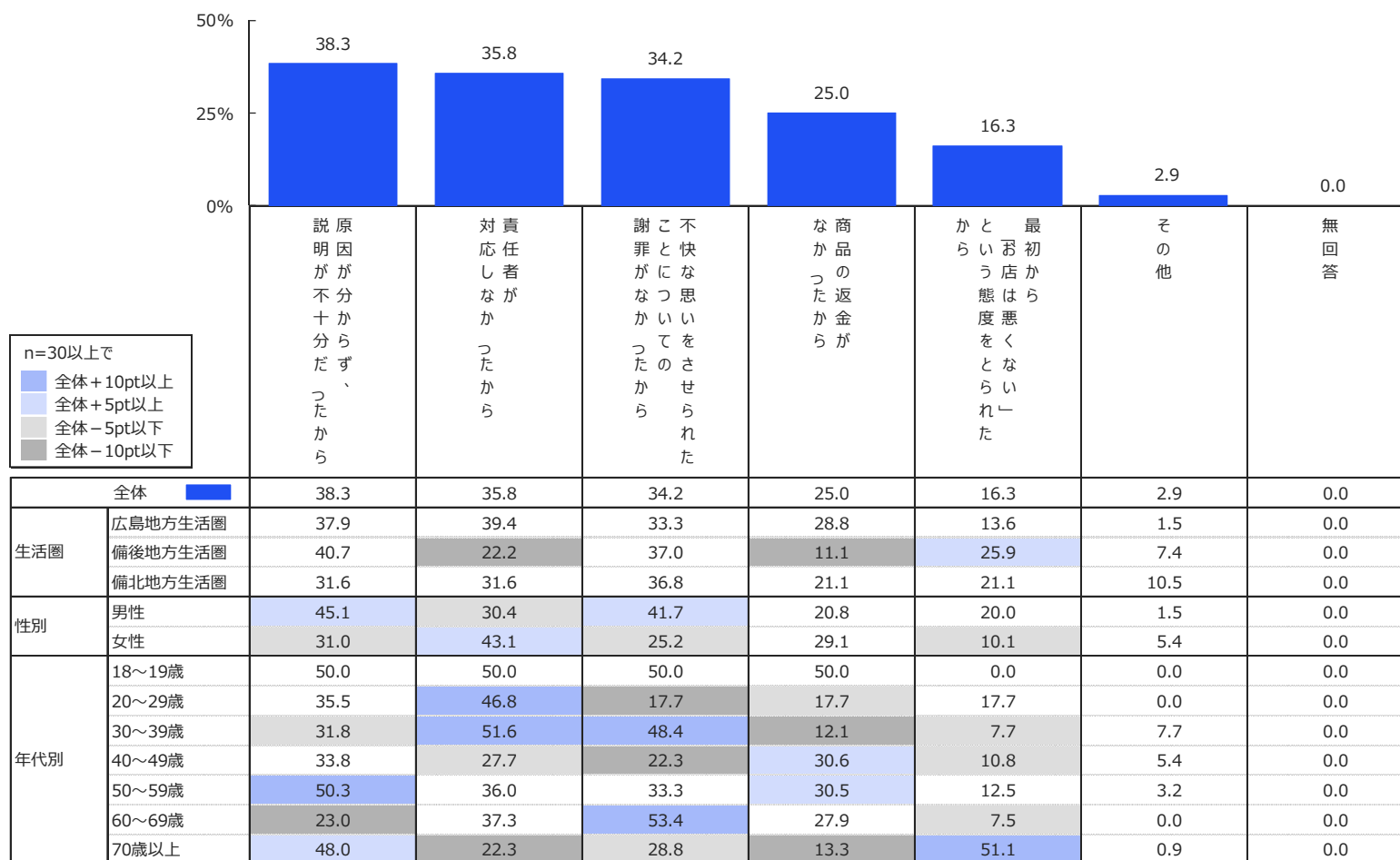


※全体の値を基準に降順並び替え

24 食品の安全確保対策

Q24 過去5年間に、食品への異物混入（髪の毛、金属片等）や、飲食店で不衛生な場面に遭遇することなどがあり、そのことを店舗責任者等に伝えましたが、対応に納得がいかなかった経験がある方にお伺いします。それはどのような理由ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（MA）

- 飲食店の不備に対する対応に納得がいかなかった理由は、「原因が分からず、説明が不十分だったから」の割合が38.3%で最も高い。
- 生活圏別にみると、備後地方生活圏で「責任者が対応しなかったから」（22.2%）の割合が他の生活圏と比べて低い。
- 性別にみると、男性層で「不快な思いをさせられたことについての謝罪がなかったから」の割合が女性層を16.5ポイント、女性層で「責任者が対応しなかったから」の割合が男性層を12.7ポイントそれぞれ上回っている。
- 年代別にみると、50歳代で「原因が分からず、説明が不十分だったから」の割合が50.3%と高い。



※n=30未満は参考値。

※全体の値を基準に降順並び替え